

日本の近代化を支えた 世界遺産



■ 宮原坑

明治31年～昭和6年に活躍した三池炭鉱の主力坑。日本で現存する最古の鋼鉄製の第二豎坑櫓とレンガ造りの巻揚機室建物が残っています。

■ 三池炭鉱専用鉄道敷跡

明治24年に開通。石炭や炭鉱資材の運搬や炭鉱で働く人たちの通勤にも利用されていました。最盛期には総延長150kmにも及び、現在もJR線に繋がる1.8kmが企業により使用されています。



■ 三池港

明治41年築港。石炭積出港として大牟田の近代化を支える礎となりました。今も国際港湾として、使用されており、閘門式水門、旧長崎税関三池税関支署などが残っています。

このほかにも多くの近代化産業遺産が残っています。

